

新宮山彦ぐるーぷ第1994回  
台風24号後の持経宿・平治宿と

### 南奥駆道(乾光門く転法輪岳)の点検巡視整備

◇実施日：2018年10月08日(月・祝) 晴

◇参加者：川島 功、沖崎吉信、児嶋道夫、生熊敏男・千満子、  
豊嶋 寛、竹中佐一、大江加予子・徳子、畑林清子、  
上村洋司・和美、山川治雄、竹中卓治、高階美根子、  
梶野照雄。 16名。

池郷林道は、台風20号・21号の暴風雨による通行止めと秋雨前線停滞で点検巡視が順延になっていた所に、台風24号が田辺市付近に上陸し、暴風による被害が気掛かりになるが、またしても台風25号の影響があるとの予報であったが、日本海を北進したので、当地への影響が少なくなり、ようやく点検巡視・整備が実施出来た。だが、池郷林道ゲート口から持経宿間(約4.7km)的林道は、路面が荒れて車の通行不可で、歩かなければならない。新宮組は6時半に出发し、池原スポーツ公園駐車場に7時半過ぎに到着すると、竹中・高階・梶野氏が既着されていた。

国道169号は、白川地内(前鬼橋の北100m付近)で土砂崩れの発生により通行止め、越野・今中さんは急遽参加取り止めになったが、梶野氏は国道169号十津川村から国道255号を経て参加して下さった。熊野市の山川氏も到着され、沖崎・川島・上村車に分乗して、池郷林道ゲート口へ。昨夜まで雨が降っていたので、路面は濡れ、各支谷は音を発てて流れている。

支障なく林道ゲート口に9時15分頃に到着する。ゲート上の林道は、掘れ込み流石が一面に見られ、やはり久しぶりに林道を歩く事になった。

谷水を排出する排出管が詰り谷水の殆んどが、林道路面に流れ、以前我々で修復した事があるが、人力では手に負えず重機による

路面補修が必須である。林道の落石を除け、倒木を数本切りながら辿り、途中小休止して持経宿に10時頃に到着した。



林道ゲート口に到着



風倒木切除



持経宿に到着

持経宿水場点検補修班(生熊敏、梶野)、平治宿水場点検と転法輪岳迄の南奥駆道の点検巡視班(山川、沖崎、児嶋、大江加予子・徳子、畑林、上村和、高階)と乾光門・涅槃岳迄の点検巡視班(川島、豊嶋、竹中佐、村洋、竹中卓、生熊千)班の3班に分けた。

### 南奥駆道(持経宿く涅槃岳く乾光門)の点検巡視班

持経宿を発ち約10分で奥駆道を遮る倒木が在り、チェーンソ



阿須迦利岳間の倒木をチェーンソーで切除



ーで切除、直ぐ上にも倒木があり、阿須迦利岳(1251m)迄に雑木を6本切除した。



倒木は支障なく未切除



阿須迦利岳山頂



鎖場手前の狭い尾根の倒木

阿須迦利岳からの急斜面を下り、鞍部から登った地点にヒメシヤラの大木(約径30cm)が道を塞ぐが、捲き道を通り今回未切除。その上の小径木を切除、シヤクナゲのピークを越えて鎖場を下り、狭い尾根に枝別れして通り難い倒木があり切除する。この地点を過ぎた鎖場は、田中陽希のグレートトラバース「紀伊山地修行の道」で放映されたカ所である。その後、証誠無漏岳(1301m)迄に倒木3本切除した。



証誠無漏岳間の倒木切除

証誠無漏岳で小休止後、11時半であるが涅槃岳で昼食する事にして出発。豊嶋さんチェンソーを持って先頭で歩かれるが、歩くのが早いので、チェンソーの音がするが着く頃には切除した後で作業写真が撮れない。



証誠無漏岳山頂



腐朽ブナ大倒木の切除



腐朽ブナ大倒木を処理し(一部ステップ部のみ切除)、ヒメシヤラ尾根を一登りすると涅槃岳(1376.2m、二等三角点)に12時05分に到着し昼食とする。涅槃岳迄に倒木を4本切除した。



涅槃岳山頂と昼食



乾光門

昼食後、最高齢(88歳)の豊嶋さんは、点検可能な地点まで行こ



うとの事で、山頂にザックをデポして涅槃岳を下る。上村氏は山頂で待機。

チェンソーを担いだ豊嶋さんは早い、空身の我々が遅れ、乾光門迄には倒木は無かった。乾光門の腐木・葛等を除けて整地する。帰路は、涅槃岳の長いきつい登りが必要があり、豊嶋さんに「先に戻るぞー」と声を掛ける。乾光門から登りの尾根で、程なくチェンソーの音が響いてくる。

剣光門から登った崩落地上の道等で支障の枝2本を手鋸で切除する。涅槃岳山頂に13時10分過ぎに戻り小休止していると、直ぐに豊嶋さんが戻って来られた。

12時半頃迄に奥駈道の点検巡視を終える事を申し合わせた事であり、急いで戻る事にする。途中、平治宿迄行って戻り旭口へ日帰りする青年と再度すれ違い、足の達者さに感服した。証誠無漏岳、阿須迦利岳で小休止して、持経宿に14時40分に戻る。



乾光門手前崩落地上の道で

証誠無漏岳

阿須迦利岳

山川さんは、用事があり早く帰りたいとのことで、上村車(大江加予子・徳子・畑林さん同行)で先行下山されたとのことで、沖崎・児嶋・生熊敏・高階・梶野氏が待機して迎えて下さる。

児嶋さんがコービーを振舞って下さり、記念撮影後の14時

50分に持経宿から下山したが、林道ゲート迄歩かなければならない。



持経宿に戻る



持経宿で記念撮影



林道ゲートに無事下山

林道歩きは、下りなので帰路は1時間15分を要して、林道ゲート口に戻り、池原スポーツ公園駐車場に16時半過ぎに無事到着した。

先行下山された大江加予子・徳子、畑林が待機されていた。梶野氏は、宮井経由で帰宅とのことで、梶野・沖崎・川島車と一緒に走行し、宮井大橋手前で梶野車に分乗した人を川島車に乗り換えて帰新した。

### 行動タイム

新宮6:30→7:35池原スポーツ公園P7:40→8:15池郷林道ゲート  
8:20→10:00持経宿10:03→10:45阿須迦利岳10:50→11:30証誠無漏岳  
→12:05涅槃岳(昼食)12:20→12:40乾光門12:45→13:15涅槃岳  
13:20→13:50証誠無漏岳→14:15阿須迦利岳14:20→14:40持経宿  
14:50→16:05池郷林道ゲート→16:30池原スポーツ公園16:35  
→17:40新宮。  
(記：川島)



## 持経宿水場の整備班

R169が崩土通行止めになったので、十津川からR455経由で池原に向かう。R455は部分的に道路が川になっていて、水しぶきをあげながらの走行になった。

台風20号の大雨で、排水溝が土砂で詰まり、沢水が道路に流れ出してしていた。白谷林道の入口で停車して状況を確認した。国道に近い部分は、流れた水で小さな石や土砂が流され大変荒れていたが、その奥はいつもと同じように見えた。



白谷林道の入口



白谷トンネル東口からの雲海



思ったより早く、7時25分に池原到着。トイレを済ませて出てくると竹中車が到着していた。7時38分に新宮組が到着して持経宿に向かった。

持経宿に着いて、平治宿へ向かう班と北へ向かう班を見送り、スコップやツルハシなどを持って持経宿水場に向かった。

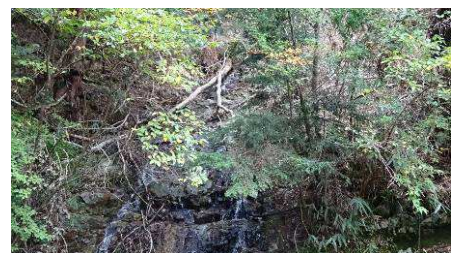
水場までの林道はいつもと同じ状態で、特別荒れているようには感じなかった。直径5cmほどの倒木が2カ所で道を遮っていたが、チェーンソーで切除した。



道具を持ち水場へ前方に倒木

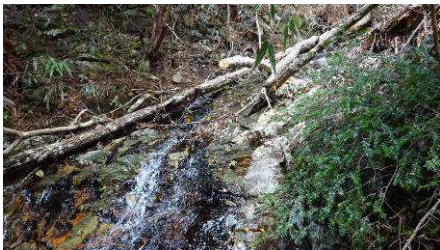


水場横の大きな倒木



水場上方にも倒木

水場の100mほど手前から水音が聞こえだして、かなり水量が多いことが判る。水場はほぼ全面に水が流れていて、近年見たことがないほどの水流があった。



一部切除



ホーススクリーナーを使うが



詰まり解消

聞いていたホースが外れているようなことは無く、ホースは健



在だった。

水場の下が土石で埋もれているようなこともなく、上からの落石は殆ど無かったようだ。ただホースの先端からは一滴も水が出ていない状態だったので、完全に詰まっているようだった。

水場の上流に10m位の木が根返りして倒れこんでいた。この木の根は沢の中央付近にあり、根から流れ出した土がホースに詰まっているように思えた。

ホースの取水口の上にも倒木の枝があり、作業の邪魔になるので、チェーンソーで切除、生熊さんが取水口付近の石や枯枝を取り除いて、取水口を探してください。水流が激しくて、上からは直接見えないので、土嚢を二つ置いて水流を弱めて取水口を見つけた。

ホース取水口は指が入ったので、もつと下で詰まっていると考え、パイプクリーナを突っ込んでみたが、40cm位入ったところで動かなくなってしまった。ツルハシでホースのあちこちを叩いてみたが一向に水は出てこない。

ホースはカーブして取付けられているので、直線に伸ばして試してみようということになり、木に縛られていた部分を外し、まっすぐ下向きにして再度ツルハシで叩いてみた。4〜5回叩いたところで先端から土砂と水が噴き出してホースの詰まりは解消した。この作業で二人とも靴の中までびしょ濡れになった。

水量の多いときは長靴が必要だ。水ホースの修理作業を終え、水場のすぐ横に倒れこんでいる大木の処理にかかる。長さ20m位の杉と10m位のヒメシヤラだ。完全に林道を塞いでいるが、切ってしまうと上方斜面にある根の部分が林道に落ちて来るので、枝を払うだけにとどめた。

水場での作業を終え小屋に戻って、ポリタンクを持って再び水場に向かい、二人で20リッターを補給した。

昼食後、生熊さんは脚立を出して雨樋を掃除してください。私は掃除機で小屋内清掃、トイレの紙を焼却炉へ。清掃がほぼ終わ

った頃に平治宿班が帰ってきた。



枝払いした倒木



小屋で清掃作業



平治宿班帰着

### 行動タイム

持経宿 10:08 → 10:24 水場 11:32 → 11:45 持経宿 → 12:05 水場 → 12:20 持経宿(昼食) → 清掃作業。(記:梶野)

### 平治宿水場と南奥駆道(持経宿↷転法輪岳)の点検巡視班

#### 作業綱目

- ① 持経宿・平治宿の毛布内乾燥剤投入。
- ② 持経宿↷転法輪岳下迄(南↷)倒木処理。
- ③ 持経宿・平治宿の志納箱取替と回収。
- ④ 持経宿・平治宿の片付けと清掃。
- ⑤ 平治宿水場の底浚えと採寸。
- ⑥ 平治宿雨水槽の蓋取替え。

この日18名の参加申込みがあった。出発前の早朝6時過ぎに梶野さんから電話が入り「川上村・道の駅」に来たが、国道169

号線が崩土で通行止めであり引き返すとのこと。外に大阪方面から参加する今中・梶野の両君に直ぐ電話を入れた。

梶野君は、通行止めを察知していたぐらいで、十津川経由でそちらへ向っている。今中さんには、引き返す旨の電話を入れるところだったようだ。

最近、山彦の行事も参加者が広範囲となってきた。この時期、国道が通行止めとなるリスクは多分にある。せめて前日もネットですその確認が必要だろう、反省である。越野・今中のご兩人には気の毒なことをした。

持経宿で3班に分れ、我々8人(山川、沖崎、児嶋、大江加予子・徳子、畑林、上村和、高階)は、10時過ぎに平治宿へ出発。

ミズナラの巨木過ぎ地点から倒木がある。山川さん持参のチェンソーで処理、残りがその片付けをする。パターンで5本程切除処理する。1カ所40cm位あるブナの木が道を塞いでいて、次の宿題とした。

平治宿に11時20分頃に着き、山川・沖崎が転法輪岳の先まで倒木処理に、児嶋さんは志納箱の取替え、女性陣は小屋内清掃・片付けをそれぞれに担当。児嶋さんと女性陣は、終了後に水場の点検整備と生熊さんが水槽上にグレーチングを設置し、流石による水槽周りのコンクリートを保護する為、採寸の注文があり併せてお願いした。

山川・沖崎は、転法輪岳山頂から南へ7〜8分下った地点迄行ったが、大荒れは無く4〜5カ所で倒木処理をして、平治宿に戻った。

水場水槽採寸と底浚え作業を終了して、一緒に昼食を済ませて13時前に平治宿を発ち、14時前に持経宿へ戻った。

登山者や椎木さんの情報通り、全体的に大荒れ、倒木多数の状態ではなく、予備知識あった事もあり安心した。

北の涅槃岳点検巡視班を待つ間に、5人(山川、上村和、大江加予子・徳子、畑林)が先行下山。

14時40分全員が揃う。ゲート迄歩くが以前なら一時間弱であつたが、林道路面が荒れていて一時間10分強を要した。足元も悪いが年のせいとか、林道歩きはしんどい。

早く林道が改修され、車での乗り入れが何時出来るか気になり、翌日に奈良森林管理事務所・池原駐在の高木氏に電話するも繋がらず、しばらく林道歩きが続きそうである。

(記：沖崎)



平治宿水場の水槽